

海老名市教育委員会

(平成29年 1月 臨時会議事日程)

日時 平成29年1月4日(水)

午後1時00分

場所 海老名市役所503会議室

日程第 1 議案第 1号 海老名市学校施設再整備計画について

日程第 2 議案第 2号 海老名市就学援助費交付要綱の一部改正について (非公開
事件)

議案第1号

海老名市学校施設再整備計画について

別紙のとおり、海老名市学校施設再整備計画について、議決を求める。

平成29年1月4日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

提案理由

海老名市学校施設再整備計画の策定にあたり、コンセプト等を定めたいため

「海老名市学校施設再整備計画」策定コンセプトについて

1. 計画策定コンセプト

「持続可能」な「夢」のある計画 「Sustainability」&「Dream」

○人口減少が予測される中、健全な財政維持のためにも、公共施設の効率化（床面積の減少等）が求められています。

また、高度経済成長期に整備された学校施設は、老朽化が進み、その対策が喫緊の課題となっています。

○本計画では、学校施設の再整備を通し、本市の「持続可能」な行政運営を可能するとともに、未来のえびなの子どもたちに「夢」を与えることができる計画を策定します。

2. 計画策定キーワード

計画策定のキーワード「3R(スリー・アール)」

1. 再整備(リテペロフメント)

- 学校施設（校舎、屋外運動場）を計画的に整備（建築、電気設備、機械設備）することで、「良好な環境」を維持すると共に「施設の長寿命化」を進め、建設コストの縮減を図る。

2. 再編成(リオーガニゼーション)

- 児童・生徒数の推移や他の公共施設の機能を踏まえ、小中学校及び他の公共施設の再編を行うことで、「小中一貫教育の推進」や「施設の効率化（床面積の削減）」を図る。

3. 改革・刷新(リノベーション)

- 従前の学校施設の枠にとらわれず、児童・生徒はもちろんのこと、地域住民（幼児から高齢者まで）の利用を考慮し、学校を地域コミュニティの核とすべく、「多機能化」、「複合化」を進め、地域に愛される施設とする。

学校施設再整備計画策定体制イメージ

